

愛媛大学医学部附属病院では、 ジェネリック医薬品(後発医薬品)を 積極的に導入しています！

<ジェネリック医薬品とは？>

ジェネリック医薬品とは、新薬(先発医薬品)の特許が切れた後に、製造販売された同じ成分の薬です。開発コストが少ないため先発医薬品に比べて安価となっています。欧米では医師が処方せんを記載する時に、商品名ではなく一般名(generic name)で記載することが多いことから「ジェネリック医薬品」と呼ばれます。

※ジェネリック医薬品を含め、医薬品の供給が不足した場合は治療計画の見直しを行うなど、適切に対応いたします。また、処方内容を変更する場合は、当院よりご説明致します。

ジェネリック医薬品について分からぬことがある場合には、
お気軽に薬剤師までご相談ください。

